

山崎晃資、 本郷誠司、 品田正幸、 煙石洋一、 竹内知夫	単科精神科病院における高 機能広汎性発達障害の治療	日精協誌	24 (11)	1159－ 1163	2005
山崎晃資	特別支援教育に求められる もの—軽度発達障害の子ど もたちとのかかわり—	精神療法	32 (1)	4－9	2006

研究成果の刊行に関する一覧表

(雑誌)

(3)

発表者名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	頁	出版年
石井哲夫	これからの障害者支援	教育と科学	12	4-12	2006
Ohta, M Kano, Y Nagai, Y	Catatonia in Autism Spectrum Disorders	International Review of Neurobiology	72	41-53	2006
太田昌孝	発達障害を持つ子どもの認知 発達について	日本重症心身障害 児学界誌	31-1	21-26	2006
永井洋子 太田昌孝	太田ステージと認知発達につ いて	医学の歩み	217-10	990-996	2006
成基香 太田昌孝 小池敏英	LD児における漢字書字困難 と画要素の資格記憶との関連 について	学校教育学研究論 集東京学芸大学大 学院連合学校教育 学研究科	13	79-91	2006
千暁輝 太田昌孝	改訂：小児行動質問票を用い た中国と日本の自閉症圏障害 の子ども症状比較	学校教育学研究論 集東京学芸大学大 学院連合学校教育 学研究科	14	13-21	2006
永井洋子 太田昌孝	シンポジウム 学校精神保健 の課題－中学生のこころと教 育のあり方－	日本児童青年精神 医学とその近接領 域	47-3	242-249	2006
太田昌孝 杉山登志郎	シンポジウム 司会の言葉 青 年期軽度発達障害児者への支 援を考える	日本児童青年精神 医学とその近接領 域	47-3	250-252	2006
白瀧貞昭	学習障害児への発達支援 －医学的立場から－	教育と医学	9	64-79	2006
白瀧貞昭	アスペルガー症候群（障害） は乳幼児期から判別できる か？－幼少時期における情報 をどう活用するか	現代のエスプリ	464	99-106	2006
杉山登志郎	子ども虐待と発達障害：第4 の発達障害としての子ども虐 待	小児の精神と神経	46-1	7-17	2006
海野千畝子 杉山登志郎 服部麻子 大河内修 並木典子 河邊真千子 小石誠二 東誠 浅井朋子 加藤明美	被虐待児童に対する集中アセ スメント入院の試み	小児の精神と神経	46-2		2006

並木典子 杉山登志郎	高機能広汎性発達障害にみられる気分障害に関する臨床的研究	小児の精神と神経	46-4		2006
杉山登志郎	発達障害としての子ども虐待	子どもの虐待とネグレクト	8-2		2006
Endo, T Sugiyama, T Someya, T	Attention-deficit/hyperactivity disorder and dissociative disorder among abused children	Psychiatry and Clinical Neurosciences	60	434-438	2006
杉山登志郎	虐待系の多動性障害とADHDの診断と治療	臨床精神薬理	9-5	252-255	2006
杉山登志郎	ADHDと行為障害（非行）	そだちの科学	6	72-79	2006
杉山登志郎 海野千畝子	精神療法によって愛着の修復は可能か？	そだちの科学	7	113-119	2006
杉山登志郎	発達障害の理解と対応	精神科看護	33	14-19	2006
H, Ogiwara O, Takahashi	The Development and Characteristics of Autistic Children Receiving Very Early Intervention	Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry	46 (Supplement)	40-60	2005
高橋 脩	発達障害の児童精神科臨床	児童青年精神医学とその近接領域	47 (4)	316-317	2006
高橋 脩	自閉症とADHDの愛着の発達について	そだちの科学	N07	66-72	2006
高橋 脩	軽度発達障害の早期診断と対応～高機能自閉症と注意欠陥多動性障害を中心に	現代のエスプリ	476		2007
山崎晃資	操作的診断基準の有用性と限界をめぐる今日的課題 －児童精神医学の立場から－	精神医学	48-7	717-719	2006
山崎晃資	少年事件と児童精神医学	公衆衛生	70-8	588-591	2006
山崎晃資	発達障害の診かたと接し方	精神科	9-6	493-499	2006
山崎晃資	発達障害の概要	新版 社会福祉士養成講座⑩ 心理学	第3版	124-131	2007
山崎晃資	メンタルヘルス教育の現状と今後の課題	精神科臨床サービス	7-1	126-132	2007
Ando, H Yoshikawa, M Kawaguchi, M Matsumoto, H Yamazaki, K Oka, T	The selective action of D2 dopamine receptor antisense oligodeoxynucleotide on the expression of the dopamine receptor subtype mRNA in rat striatum	Tokai J. Exp. Clin. Med	31-2	63-67	2006

厚生労働科学研究費補助金
こころの健康科学研究事業

平成 19 年 4 月 30 日発行

**高機能広汎性発達障害にみられる反社会的行動の成因の
解明と社会支援システムの構築に関する研究**

平成 16 年度～18 年度 総合研究報告書

研究代表者 石井 哲夫
連絡先 社団法人 日本自閉症協会
T E L 03-3545-3380
印刷 株式会社 美巧社
